

経営協議会の学外委員からの意見を法人運営に反映した主な事例（平成23年度）

主な事例	具体的な内容
企業訪問活動の積極的展開	<p>学外委員から、産学連携本部自身が学外に積極的に向き、共同研究等に結びつける活動をしていくべきとの意見を受け、平成22年度途中から道内外において企業訪問を実施している。</p> <p>平成23年度には、当該訪問活動について、学外委員から、大学の知的財産を生かすため企業に対してより分かりやすく研究成果を説明する必要があるとの意見があったことを受け、研究成果の技術移転や共同研究の締結につながるよう個別企業毎に具体的な目標を持って訪問活動を実施し、訪問件数も前年度の27件から144件へと大幅に増加させた。</p>
世界大学ランキングに係る施策の企画・立案及び実施体制の整備	<p>学外委員から、世界大学ランキングの結果が及ぼす影響の重要性に係る指摘があったことを受け、平成22年にワーキンググループを設置して分析等を進めてきたところであるが、平成23年度にはこれら分析等を踏まえた施策の企画・立案や実施を行うための組織として新たに「国際競争力戦略チーム」を設置し、ランキングに結びつく具体的な取組の展開を開始した。</p>
学生アンケートの充実化	<p>新たな運営組織（教育関係）の達成度評価に係る議論の中で、学生の満足度を指標とした評価・比較の有効性と効果的なデータの取り方を工夫するよう指摘があったことを受け、これまで新入生を対象に実施してきた学生の満足度に係るアンケート調査を、平成23年度から毎年度1～4年次学生を対象として実施するとともに、学外からの評価を取り入れるための「卒業生アンケート」・「企業アンケート」について、各学部・研究科等の実施状況を調査し、実施部局の拡大に向けた検討を開始した。</p>
「北大・九大合同活動報告会」開催日程の見直し	<p>学外委員から、平成17年度以降北海道大学と九州大学との主催で東京において実施している「北大・九大合同活動報告会」について、より幅広い層が参加できるように週末に開催する等、開催日程を工夫すべきとの意見があったことを受け、平成24年度については平成25年1月12日（土）に開催することとした。</p>